

『外断熱工法』見学会



(仮)毛穴町共同住宅新築工事

2006.07.09 一級建築士事務所FCY

外断熱工法のメリット

1. 快適生活環境

壁内結露が起きない



カビが発生しない



ダニが発生しない

2. 耐久性

コンクリートが風雨・寒暖の
影響を受けない



コンクリートの劣化が進みにくい



建物が長寿命化する

3. 省エネルギー

高断熱



冷暖房負荷が非常に小さくなる



冷暖房費が少なくて済む
と同時に、地球環境にやさしい

夏の外断熱工法

① 残留輻射熱対策

夜間でも冷房が効かない体験
室温と同調したコンクリート

② 冷房負荷の低減

小さな冷房機で快適な生活
自然エネルギーの活用

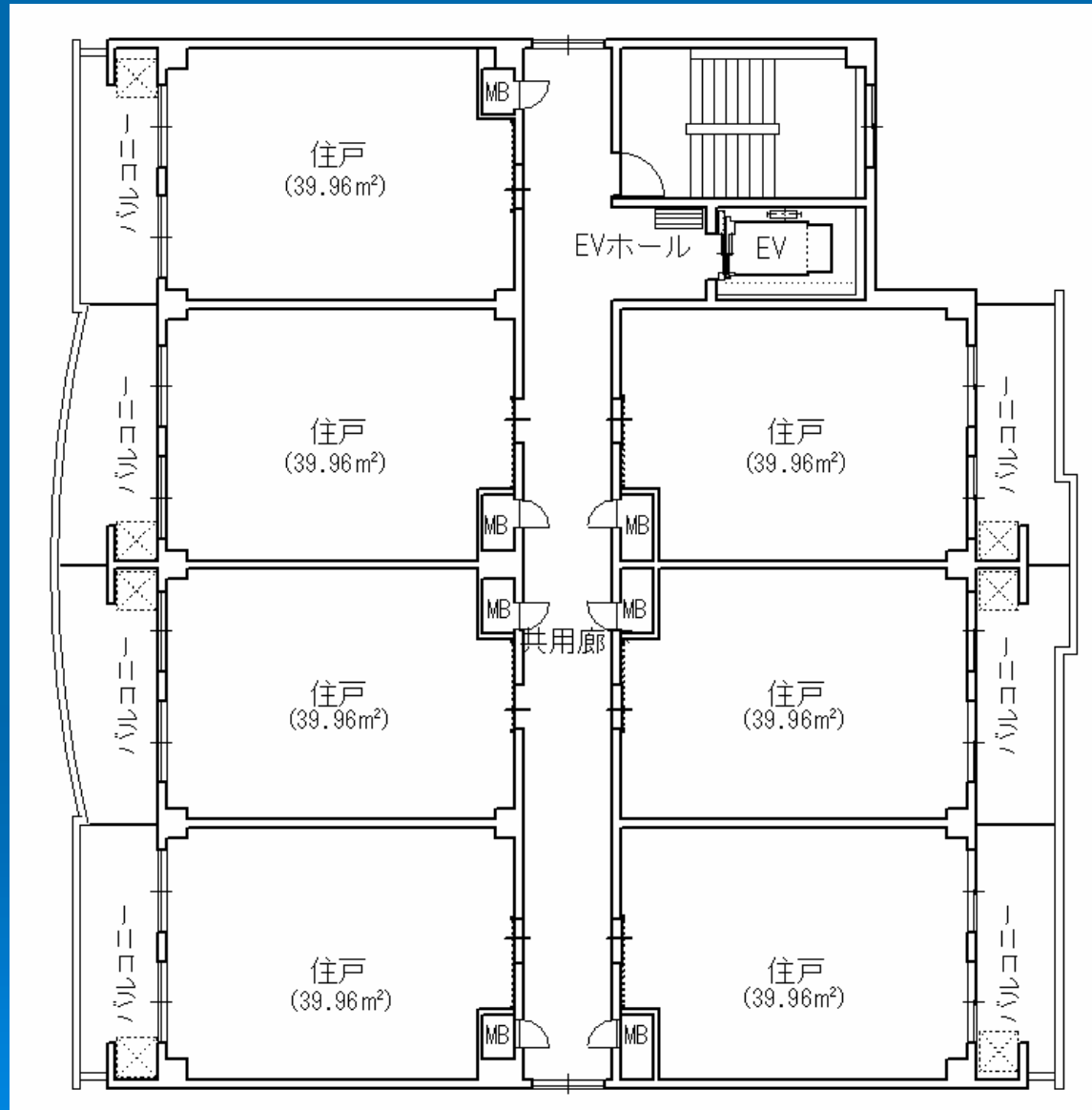
(仮)毛穴町共同住宅 設計概要

- 建設地 : 堺市中区毛穴町174-1、他
- 建物用途 : 共同住宅
- 用途地域 : 工業地域、第2種特別工業地区
- 階数 : 3階
- 構造 : 鉄筋コンクリート造
- 敷地面積 : 1,640.99m²
- 建築面積 : 395.06m²
- 延べ面積 : 1,068.92m²
- 住戸タイプ : 1LDK、14戸
(38.96~39.08m²)
- 駐車台数 : 11台

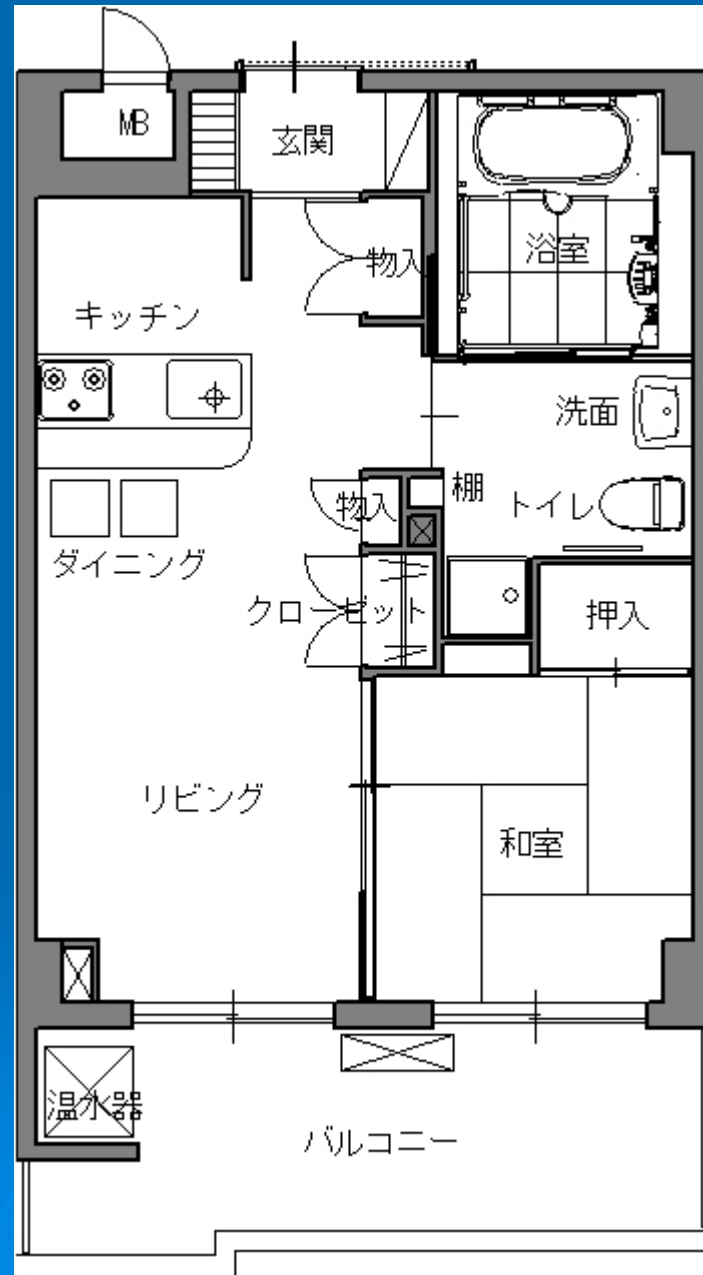
1階 平面計画



2階、3階 平面計画



住戸 平面計画



外断熱工法の採用(断熱材)

1.外壁

1)妻壁側→L H H外断熱システム

グラスウール 32kg、厚100mm

通気層 30mm

2)バルコニー側→ドライビット アウサレーション

ビーズ法ポリスチレンフォーム 4号、厚100mm

2.屋上(屋根)

グラスウール 32kg、厚100mm

通気層 30mm

3.1階床(土間)

押出法ポリスチレンフォーム 3種、厚100mm

4.断熱補強

1)基礎・地中梁 : 押出法ポリスチレンフォーム 3種、厚50mm、L=600mm

2)バルコニー上面 : フェノールフォーム 1種、厚25mm、L=600mm

下面、袖壁 : ビーズ法ポリスチレンフォーム 4号、厚50mm、L=600mm

3)パラペット : ロクセルボード 厚50mm

4)風除室 : ロクセルボード 厚50mm

外断熱工法の採用(開口部)

1. 共用部：樹脂サッシ+ペアガラス（H-4等級）
2. 住戸部：樹脂サッシ+Low-Eペアガラス（H-5等級）

外断熱工法の採用(空調設備)

1. 管理人室・管理事務所
 - ・ 第1種換気（全熱交換方式）
2. 住戸
 - ・ 第1種換気
 - ・ 外気調温供給